

新規VSM導入のご紹介 (2016.11月)

測定実施例 (装置メーカー情報) ;

1. Ni-H電池中の残存微量Niの検出
2. 製薬、食品工程中に混入する極微量Fe, ステンレスの検出
3. 樹脂成型プロセス中の強磁性不純物の検出
4. Fe系合金の磁場中熱処理効果の研究
5. 食品 (にんにく等) や医療への磁場処理効果の研究



VSM-5型

ポンプ

VSM本体

制御系

<仕様>

最大磁界 ; 約17kOe

磁化感度 ;  $1 \times 10^{-5}$  emu

温度 ; 低温-196 ~ RT 高温RT ~ 900°C

電磁石 ; 360° 手動回転

磁界 ; ホール素子ガウスメータ,  $Gd_2O_3$ 校正

磁化校正 ; 標準Ni(99.99%)

真空系 ; DP, RP, ピラニ計 約  $3 \times 10^{-6}$  Torr

<特徴>

- 磁化感度が非常に高い。
- 常磁性、反磁性体でも測定可
- 低温 (液体窒素温度) ~ 900°C 連続測定可
- 直流磁場中での加熱、冷却処理が可

<例>

Ni-H電池中の残存微量Niの検出 (試算)

純Ni(99.99%)の飽和磁化  $\sigma = 54.39$  (emu/g),  
通常感度 ;  $1 \times 10^{-4}$  (emu) として計算。

⇒ 可能な検出感度は試料重量100mg時に、  
1.84ppm以上。

株式会社 KRI

フェロ&ピコシステム研究部

TEL.075-322-6832

メールでのお問い合わせはこちらから

